

◎目次

●序論

本書の目的
研究状況
本書の構成

●第1部 定義

概念
対象

●第2部 歴史編

過ぎ去らない過去——一九世紀のギリシャ
ギリシャのなかの小アジア——一九二二年の
大災厄
「マンガス」がレコードを録音する——
一九三三年のマルコス・ヴァンヴァカリス
混淆様式

第二世代——一九三六年／一九三七年のヴァ
シリス・ツイツァニス
生存をかけた戦い——一九四〇年から一九九
年までの戦争と占領と内戦

最盛期——第三世代
民族音楽ではなく「民衆」の音楽——「ライコ」
豪華なレベティコ
おとぎの国のブズキ——「東方趣味」
ヒョティス、ザベタス、新富裕層

「インドによる支配」、カザンヅイデイス、地
方出身労働者
芸術的な知ったかぶり——「エンデフノ」と
フォークロア

●第3部 音楽編

リズムの相
タクシミア
アマネス
対称的なリズム——ハサポセルヴィコスと
ハサピコス
非対称的なリズム——9／8拍子のダンス
の部類(ゼイベキコ、アプタリコス、カ
ルシラマス)

ゼイベキコ
アプタリコス
カルシラマス
その他のリズム(ツイフテテリ、シルトス、
ワルツ)

ツイフテテリ
シルトス
ワルツ
メロディーの相
歌詞の相
楽器

ブズキ
バグラマス

●第4部 結論

●第5部 人物

●訳者解説

●原注／代表的資料／曲目一覧／索引

曲目一覧

ギリシャ語は縮小辞が豊富で、「可愛い」「幼い」「小さい」と訳したが、あくまでも便宜的なもので、人称代名詞は歌手の性別によって、「わたし」にも「おれ」にも変わる可能性がある点など、ご注意いただきたい。さらにはネット上のタイトルと異なることもある。

ああ、おまえはとんだ災難だったな Αχ, σου 'χει λάχη
愛する者のみが嫉妬する Ζηλεύει όποιος αγαπά
あいにくデカたちがやって来た、こんな時間に Τούτοι μπάρτοι-πού (έ)ρθαν τώρα
愛のない人生を一人で生きていく Ζούσα μοναχός χωρίς αγάπη
開けて、開けて Άνοιξε-άνοιξε
明けの明星が甘美に輝く Γλυκογαράζει ο Αυγερινός
あっち行け、マンガス Τράβα ρε μάγκα
アテネの女 Αθηναίσα
アテネのカルメン Η Κάρμεν Στην Αθήνα
あなたの言うことは聞かないわ Δε με (ν)τουμπάρεις
あなたの顔立ちのすべて Τα ούλα σου
あなたの甘美な目から霊水が流れる Από τα γλυκά σου μάτια τρέχει αθάνατο νερό
あなたのわずかな愛 Λίγα ψίχουλα αγάπης
あなたは相性が良くない Μαζί μου δεν ταιριάζεις
あの人間は仕合わせだよ Ειν' ευτυχής ο άνθρωπος
甘い口付け Το γλυκό φιλί
雨垂れ Της βροχής οι στάτες
雨が降る、雨が降る Βρέχει-βρέχει
雨のなかを走る馬車 Η άμαξα μεσ' στην βροχή
アメリカ人 Ο Αμερικάνος
アメリカ人との遊び Το παιχνίδι του Αμερικάνου
アラビアの女たち Αραβίνες
アルジェリアの歌 Ένα τραγούδι απ' τ' Αλγέρι Αρχόντισσα
アルホンディッサ [上品ぶった女] (ツイツァニス作) Αρχόντισσα
アルホンディッサ [上品ぶった女] (モンダナリス作) Αρχόντισσα
アルメニア人の娘 Αρμενίτσα
アレヴラスの店で Στο Αλευρά τη μάντρα
あれほどの男を失って惜しい Κρίμα τέτοιο παλληκάρι
哀れなカヴラス、あなたはどこ Πού 'σαι καμμένη Κάβουρα
あんたがタヴェルナが飲んでると Όταν πίνεις στην ταβέρνα
あんたになんの関係があるの Τι σε μέλλει εσένανε



図15 ゼイジワイエス地区(ペレウス)にあった飲食店「カラマティアノス」で、一九四九年に撮影された大編成の楽団。レベティコの傑出した代表者が一堂に会し、これほどの人数が一枚の写真に収められたのは希有だという点で、この写真は珍しい。